

八戸工業大学同窓会報

HIT Alumni Association Journal

第29号

12月発行

八戸工業大学 同窓会事務局

TEL: 0178-25-8027 / FAX: 0178-25-3827 / E-mail: dosokai@hi-tech.ac.jp

支部会での総会および八戸で行う「同窓生の集う会」をおおよそ3年ぶりに対面単独開催できました。当日の様子を写真でご紹介いたします。参加できなかった皆様におかれましては、来年は是非、各支部ならびに八戸開催の集う会にご参加をお待ちしております。

01

2023/7/8 -札幌-
北海道支部



04

2023/9/30 -秋田-
秋田支部



02

2023/9/9 -東京-
関東支部



06

2023/11/11 -仙台-
東北支部



03

2023/9/23 -函館-
北海道支部道南部



05

2023/10/21 -八戸- ~50th+1 Anniversary 地域と共に~
第22回八戸工業大学 同窓生の集う会



同窓会開催等の情報は八戸工業大学同窓会のホームページからご確認ください →

<https://alumni.hi-tech.ac.jp/>



北海道支部道東部総会は
2024年6月3日帯広にて開催予定



同窓会 会長 挨拶



八戸工業大学同窓会 会長

福士 信雄

同窓の皆様方におかれましては、常日頃から同窓会活動に格段のご協力をいただき誠にありがとうございます。全国各地それぞれの地での活躍に敬意を表します。また、母校八戸工業大学からは同窓会活動に一層のご理解とご支援をいただいております。深く感謝申し上げます。

さて、私が大学を卒業して数年経った頃に、とても話題になった「第三の波」という本があります。著者のアルビン・トフラーは、人類はこれまで大変革の波を二度経験してきており、第一の波は農業革命、第二の波は産業革命と呼ばれるものであり、これから第三の波として情報革命による脱産業社会(情報化社会)が押し寄せるとされました。当時の大型電子計算機からパソコンへの流れと相まって、会社で使う製造機器も次々とコンピュータ制御のものに置き換わっていきました。次に、大きな波を感じたのがインターネットの普及でした。仕事の在り方も大きく変わり、インターネット無しで仕事を進めることは、すでに考えられない状態です。そして、今さらに大きな波になるだろうと感じているのが、生成AIです。まだ、直接仕事上の影響は無いのですが、今後回路設計やプログラミング、企画等において大きな波が迫っていることを感じています。

このような時代の変化に対応していくためには、我々の同窓会活動も進化させていく必要があると考えています。母校51年目という歴史を踏まえ、これからも時代の変化に合わせて、新たな展開を模索していく必要があると考えています。例えば、現在事務局に任せられている「同窓生の集う会」も、新たなアプローチとしてテーマを設定するなど企画を幹事学年に任せ、ポスター製作やチケット制を導入して、より魅力的な同窓会活動ができるのではないかと。また、各支部との連携強化に加え分会の活動ともより連携を深めるために、相互の情報共有を進めていくべきではないかと等々の考えを持っております。

同窓会活動を進展させていくためには、同窓の皆様のご理解とご協力が必要です。大きな波に乗ったより深い交流を企画し、会員相互の親睦を図り、あわせて母校の発展に貢献したいと思っております。最後になりますが、今後とも、素晴らしい同窓会活動を共に築いていけることを心より願ひ挨拶いたします。

令和5年度理事会・定例代議員会

令和5年6月24日(土)八戸工業大学 番町サテライトキャンパスにて、令和5年度八戸工業大学同窓会第1回理事会及び代議員会が開催されました。構成員3分の2以上の出席をもって本会が成立され、審議事項について過半数の承認を得たことから、議案が成立されたことを報告いたします。

《議案》 第1号議案 令和4年度事業報告・決算(案)について

第2号議案 令和5年度事業計画・予算(案)について

第3号議案 第22回「八戸工業大学同窓生の集う会」について

第4号議案 令和4年度同窓会表彰推薦の依頼について

第5号議案 課外活動表彰における同窓会会長賞について

《報告》 第1号 各支部・分会の行事について



会長・副会長・理事・監事 (氏名 卒業年度 卒業学科名)

会長(水交会)	福士 信雄	昭和51年度	電気
副会長(同窓教職員会)	浅利 能之	昭和51年度	電気
副会長(うみねこ会)	小玉 成人	平成7年度	電気
理事(蒼峰会)	尾形 健治	昭和57年度	機械
理事(水交会)	河原木 琢也	平成7年度	電気
理事(土木建築同窓会)	高橋 和雄	昭和55年度	建築
理事(学匠会)	原田 修	昭和60年度	エネルギー
理事(学匠会)	大坂 崇長	平成4年度	エネルギー
理事(うみねこ会)	田村 友宏	平成27年度	システム情報
理事(感性デザイン同窓会)	石橋 宣貴	平成20年度	感性デザイン
理事(感性デザイン同窓会)	住吉 貴恵	平成21年度	感性デザイン
理事(北海道支部)	山下 一寛	昭和62年度	建築
理事(東北支部)	奈良坂 進	昭和50年度	機械
理事(秋田支部)	永井 誠	平成2年度	建築
理事(関東支部)	古舘 仁	平成10年度	機械
監事(蒼峰会)	左舘 直樹	昭和57年度	機械

代議員 (氏名 卒業年度)

蒼峰会			土木建築同窓会			うみねこ会		
和田 諭	昭和54年度		三浦 宏之	昭和58年度		大沼 宜浩	平成14年度	
西村 俊彦	昭和54年度		浅利 壽信	昭和60年度		平野 龍輝	平成17年度	
松倉 芳彦	昭和60年度		安田 勝寿	平成3年度		中村 史和	平成20年度	
夏堀 祐樹	平成20年度		林下 弘之	平成6年度		森越 達樹	平成28年度	
上條 博滋	平成23年度		古川 結貴子	平成21年度		下斗米 一真	平成30年度	
水交会			学匠会			感性デザイン同窓会		
菅野 義明	昭和50年度		大島 倫和	昭和61年度		柳町 竜也	平成22年度	
梅津 正明	昭和51年度		掛端 英二	平成2年度		葛西 幸恵	平成23年度	
松村 純一	昭和54年度		三浦 安則	平成3年度		高屋敷圭佑	平成25年度	
岩本 明佳	昭和57年度		河原木 洋	平成9年度		平戸慎太郎	平成25年度	
阿部 恭也	昭和60年度		濱田 信吾	平成17年度		鳥谷部華恋	平成29年度	

地域(社会)に貢献する大学として邁進



八戸工業大学 学長

坂本 禎智

八戸工業大学の同窓生の皆さまにおかれましては、さまざまな分野・職域・立場でご活躍のことと存じます。皆さまご承知のように、本学は昨年、創立50周年を迎え、地域貢献型の「工学×デザイン×地域」の融合による教育と研究の拠点大学を目指して、地域の発展のために、種々の連携を深めて課題解決に努め、新しい価値を創造できる人材育成に尽力していくことを誓いました。いま皆さまが直面している激動の社会で、特に重要な課題に挙げられるのが、カーボンニュートラル(CN)の実現への対応や、高度デジタル化への対応ではないかと思えます。

2020年に日本は、2050年CNの実現を宣言しました。それを達成するために、国主導のもとで2021年に「CN達成に貢献する大学等コアリション」が組織され、2023年7月現在、195の大学等がこれに参加し、それぞれが持つ「知」を結集し、CNの実現に貢献するための活動を全国的に展開しています。本学も組織開設当初からこれに参画し、5つあるワーキングの中の、「地域ゼロカーボンワーキング」に参画し活動をしています。青森県はエネルギー関連の企業や団体、研究機関が多く、本学にはこれらの企業等から、CN実現に寄与する「知」の拠点大学として多くの視線が向けられています。本学は、これに応えるために産官学連携による、HITCN人材育成協議会を

2023年3月に立ち上げました。本学学生や社会人のCN人材育成プログラムの構築、また初等中等教育におけるCNの啓発プログラム等の構築を進めていきます。これに関連して手始めに、本学は本年度からカリキュラムの中にCNを学べる教育プログラムも開設しました。このコアリション発足の時点で、大学等にはCNに資する学位プログラムの設定などが求められていました。本学もこれに対応するため種々検討を進めていたところ、2023年4月に文部科学省より、グリーン(CN)やデジタル等の成長分野への学部・学科再編等の改革をする大学等に対して助成金を交付するという事業の公募があり、本学はこれに応募し全国67機関の一つとして選定されました。これを受け本学は、今後「工学×デザイン×地域」というコンセプトを進化させて、工学とデザインの学びを融合、発展させ、グリーン(CN)、デジタル分野の人材育成を強化するための学科再編に取り組みこととしました。

更に本学は、人材育成による地域貢献活動として、社会人等を対象とした3つの学習プログラム(履修証明プログラム)を開設しています。HIT土木工学基礎プログラム(2021年開設)、HIT海洋学プログラム(2022年開設)、HIT機械工学基礎プログラム(2023年開設)です。プログラム修了者には学校教育法に基づく履修証明書を交付します。これは政府が推進しているジョブ・カード制度においても職業能力証明書として位置づけられているものです。本学は、これからも地域の要請に応じて新たなプログラムを開設していきます。

このように本学は、これから工学部の様々な分野の技術的なシーズ、知見、ノウハウの提供や、デザイン学部のデザイン思考による付加価値の創出、並びに地域が求める人材の育成に努め、地域に貢献する大学として邁進していきます。今後とも、皆さまのご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

HAMS (メールマガジン) 会員 登録のご案内

登録手順① 仮登録

普段お使いの携帯電話もしくはパソコンから、下記アドレス宛に空メールを送信します。携帯電話をご利用の場合、QRコードからのアクセスが可能です。

hams@alumni.hi-tech.ac.jp

登録手順② 本登録

空メールを送信した携帯電話もしくはパソコンに、自動で返信メールが届きます。返信メールの本文中にあるURLにアクセスすることで本登録が完了します。



いま・むかし物語

第二話「部活動」

前号から始めました「いま・むかし物語」は50年の歴史を持つ本学の今と昔を紹介するコーナーです。第二話は、部活動に注目！

ビリヤード部のいま



ビリヤード部 部長
電気電子工学科
3年 鳥山 さん

昭和62年度に愛好会を立ち上げた ビリヤード部を取材

活動状況

現在部員は23名おり、各自空いている時間を使って練習をしています。大学からビリヤードを始めた人ばかりですが、積極的に交流戦や大会にも出場して入賞する選手もできています。大学で出会ったビリヤードが思いのほか楽しくて趣味になりました。学内の活動だけでなく、SNSでビリヤード専用のアカウントを作成し、そこで仲間を見つけたり、ショップのオーナーとの会話がきっかけで、久しく開催していなかった青森県内の大学生が参加する「学校対抗戦」を今年春に復活させたりと、ビリヤードのおかげで人とのつながりがとても増えました。

これからの活動について

部活としての目標は、様々な大会に出場して入賞することです。ゆくゆくは個人のレベルを上げて、全国の大学生が参加する大きな大会に出場したいです。

私、個人としては、学内のビリヤードに対する意識を、遊ぶモノとしてだけでなく競技として知ってもらいことです。多くの学生にビリヤードをプレイしてほしいです。

代々伝わる謎なモノ



先輩方へ 部室等にあった謎なモノの情報提供お願いします！

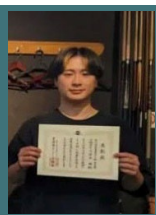
- ・ずーっとある茶色のキャビネット
- ・ロッカーにあったナスの衣装
- ・部室の住人ネズミの被り物



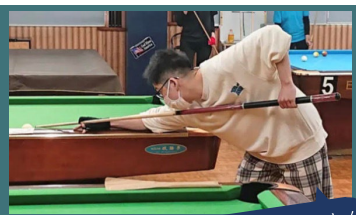
2023年4月青森県最強ペア対抗戦HARU
準優勝：3年鳥山さん・久保田さんペア



2023年5月青森県ビギナーC級戦昇竜戦
優勝：1年佐藤さん(左)
準優勝：3年久保田さん(右)



2023年6月第23回青森県BC級竜王戦
3位：3年久保田さん



試合中の鳥山さん

ビリヤードや部活動に関するむかし

※写真は学校法人八戸工業大学 広報新聞・広報誌「学園だより」「蒼穹」より抜粋しています

⑧ 初代部員の皆さんで購入した「ビリヤード台」



約30年前の写真

部員の方以外でも、休み時間にビリヤードで遊んだことがある卒業生の方も多いでしょう。なんとあのビリヤード台は部活を立ち上げた方々がお金を出し合って購入されたモノ。初代部員の皆さん...令和5年も学生たちが大切に使用しています！思い出を重ねる品を大学に残していただきありがとうございます！

発掘！むかしの写真

1986年 ラグビー部



1992年 空手部



2002年 ボクシング部



2000年 動力部



? 質問返信コーナー

Q. ストリートバスケット部、ラグビー部は存続していますか？

A. → 廃部

A. → 休部

残念ながら休部・廃部になっている部活動もごさいますが、新規サークル「サバイバルゲーム愛好会」「サウンドtech研究会」なども誕生しています！

現在のサークル情報は大学HPをご覧ください！〇〇会サークル[〇団体]のタイトルをクリックするとSNS情報も閲覧できます！



いま・むかし物語に関する感想や当時の部活の思い出、取り上げてほしいテーマを募集します。ビリヤード部OB・OGの方は現部員へのメッセージをいただけますと学生にお届けいたします。右に記載のQRコード(グーグルフォーム)からお気軽にお寄せください。



蒼峰会

蒼峰会会長就任のあいさつ

昭和五十七年機械工学科卒業 尾形 健治

現在.. アールテック株式会社

執行役員 事業本部長



蒼峰会の皆様には、益々ご清栄にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、令和五年七月八日「八戸グランドホテル」で開催されました「令和五年度機械系同窓会蒼峰会定期役員会」にて前会長小玉吉美さんの

の後を引き継ぎ会長に就任いたしました尾形健治です。これまでの蒼峰会の礎を築いてくださった歴代会長をはじめ、多くの諸先輩の皆様のご尽力に對しまして心から感謝を申し上げます。

コロナ過において蒼峰会活動も制約を受け、思うように活動することが出来ませんでした。ようやく辛く長かったウィズコロナ時代からアフターコロナへと環境が変化しましたが、人との関わり方も多様化してまいりました。蒼峰会もこの変化に適應したさらなる発展を目指し活動を模索して参りたいと思います。

蒼峰会が、会員相互の親睦を図り、会員の隆盛発展と併せて本学科が飛躍を続けられる様な互いの関係を提供する蒼峰会を作り上げていきたいと考えております。

最後に皆様方の更なる発展とご活躍を心からお祈り申し上げるとともに、これまで以上に同窓会活動への関心を寄せていただき、ご支援ご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。



新副会長からのことば

平成23年度

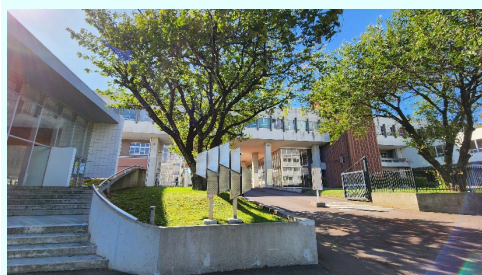
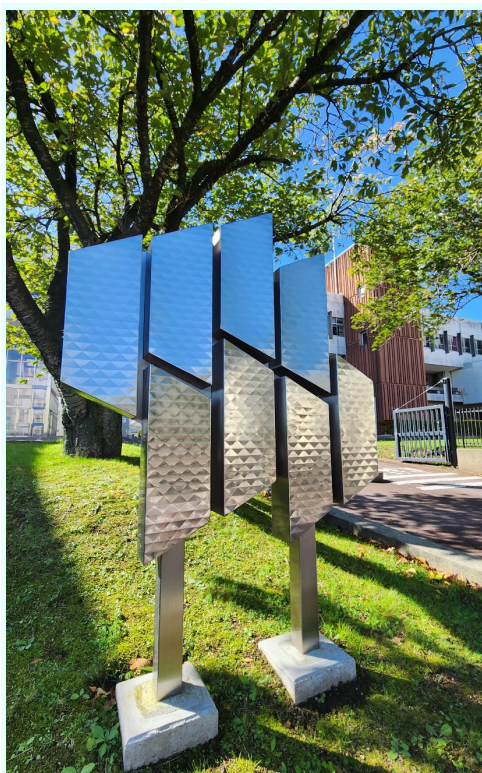
機械情報技術学科卒業

上條 博滋

蒼峰会の皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。この度、副会長への就任とシンボルマークのモニメント製作に携わせて頂きました。平成23年度機械情報技術学科卒業 上條博滋と申します。

私は本学卒業後、二社金属に関わる仕事に就いておりましたが、自らの手で物を作りたいという幼い頃から抱いていた夢を実現するべく、この地元青森県八戸市で父が創業したメタル工房、上條に入社し今年の8月で9年目を迎えました。弊社は精密板金業と属されるステンレス・鉄・アルミ等の金属板の多品種少量生産加工を得意とする父と私の家族3人で運営している小さな町工場です。

これまでに金属文字(代表例:八戸市民病院・水産化学博物館等)、看板、ステンレスシンク、内装金物、加工場金物等を製作しております。八戸市だけでも弊社の製作物が数多く人目につく所にあり、幼い頃色んな所を通るたびに「これはメタル工房で作った物だよ」と何度も聞いているうちにだんだん憧れへと変わっていくキッカケでもあります。その中でも八戸・南郷間の境目にあるサックスと音符を模った看板が一番思い入れがあると語っていたのでもし機会がございましたらご覧頂けると幸いです。



そして、昨年私にも八戸工業大学創立50周年に向けて蒼峰会よりシンボルマークのモニメント製作という大きな機会を頂く事が出来ました。シンボルマークをステンレスの質感を活かしつつどう表現するか何度も打ち合わせを重ね、弊社でも前例の無い表面の凹凸を主とした加工を取り入れる事が決まり、慣れない加工でしたが丁寧にならしました。また、モニメントの裏には恥ずかしながら製作者の名前も刻んで頂けたこともあり、今までの製作者とは全く違った思い入れの強いモニメントとなっております。本学へお立ち寄りの際、メディアセンター前の桜の木の下に設置されておりますのでこちらもご覧頂けると幸いです。

もう一点宣伝となつてしましますが、弊社はこの度もづくり補助金の採択を受け、溶接界では切っても切り離せない溶接歪みを極最小限に抑えるレーザー溶接機を2023年9月より導入する運びとなりました。新たな取り組みに挑戦する転機を迎えておりますので、レーザー溶接について興味・研究・加工がございましたら是非一度ご相談下さい。お待ちしております。

先述致しましたように、この度蒼峰会役員の改選に伴い副会長を選任され就任する運びとなりました。若手の今後の同窓会参加促進に向け若輩者ではございますが皆様の支えを受けながら日々精進して参りたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

水交会

水交会活動報告

役員改選



令和4年10月22日(土)に開催されました「令和4年度水交会総会」にて岩本明佳会長がご勇退され、新会長として河原木琢也氏(平成7年度卒)が選出・承認されました。

令和4年度「水交会賞」授与式

令和5年3月20日(月)及び同年4月12日(水)に八戸工業大学にて令和4年度「水交会賞」表彰式を行いました。水交会賞は、学業成績が特に優れている学生や課外活動において特に優秀な成績をおさめた学生を表彰するものであり、水交会在学生応援事業として平成28年度総会にて承認された制度です。令和4年度は7名の学生が表彰されました。



母校への教材寄贈



令和5年9月20日(水)、在学生の教育環境整備を目的として、工学科電気電子通信工学科コースにホワイトボード2台を寄贈しました。

令和5年度水交会総会開催



令和5年10月21日(土)、「令和5年度水交会総会」が開催されました。始めに令和4年度収支決算報告及び事業報告があり、令和5年度収支予算案及び事業計画案等について審議した結果、異議なく了承されました。

関秀廣先生を囲む会開催



令和5年2月25日(土)に八戸プラザホテルにて「関秀廣先生を囲む会」が開催され、多くの同窓生と大学教職員の方々が参加されました。

水交会の情報はwebサイトをご覧ください
→ 

OB・OGだより



听 康雄さん(川又研究室)
平成7年3月 電気工学科卒
日本原燃(株) 再処理工場
計装設計課 チームリーダー

現在



同窓生としての抱負

私の仕事は、原子力発電所の使用済核燃料をリサイクルする再処理工場(青森県六ヶ所村)において安全かつ安定した工場の運転のために、計測制御設備の設備更新を計画・実施することです。これまでの思い出深かった業務は、フランスの再処理工場の技術を採用した特殊核計装設備に関わるものでした(15年程担当)。この業務に関連し、フランスへ行く機会を何度か得て(内1回は4ヶ月駐在)、海外の方と一緒に仕事をしたこと、その後、本システムの機器を国産化導入するためにメーカーと協力して設計開発したことなど、貴重な経験をすることができました。担当を始めた20代半ばの頃は、学生時代に原子力の世界にほとんど触れたことが無かったことから、システムを理解することで精一杯でした。様々な不具合対応を行い、一つひとつ解決していくうちに、業務に対して広い視野を持てるようになり、次第に自分がやりたい事を着実に企画・実践していくようになることができました。正に、「意志あるところに道は開ける」を体現できたのではないかと考えています。最後に、近くて遠い当社再処理工場の竣工2024年度上期予定、原子燃料サイクル確立に向け、引き続き頑張っていきたいと思っています。

八戸工業大学の4年間を振り返ると、様々な経験を通して自身を成長させることができました。卒業後は社会人としての自覚を持ち、日々の業務に責任を持って取り組みたいと思います。

八戸工業大学で4年間電気電子工学に関する専門知識を学んだことで、豊かで便利な生活を支える技術を理解することができました。また、授業や実験を通して工学的思考を身につけ、様々な角度から物事を捉えることができるようになったと感じています。卒業研究では、信山研究室で植物由来ブラスタックの物理的性質について研究を行ないました。全世界が取り組んでいる環境問題に関わる研究を経験したことで、普段の生活を見直す良いきっかけとなりました。

卒業後は、八戸工業大学で学んだ知識と経験をもとに、常に向上心を持って行動していきたいと思っています。

大西 海月さん(信山研究室)
令和5年3月 電気電子工学科卒

一般財団法人東北電気保安協会

就職先

美和電気工業株式会社
CONCEPT ENGINEERING

八戸営業所
〒039-2245 青森県八戸市
北インター工業団地1丁目1-44
TEL:0178-20-4303 FAX:0178-20-4230

学科近況報告

大学院工学研究科 電子電気・情報工学専攻主任
工学部工学科長 石山 武 先生

令和5年3月31日をもって、長年にわたり本学の発展にご尽力された、関秀廣教授がご退職されました。2月に開催いたしました「関秀廣先生を囲む会」をはじめ、水交会の皆様方からは多大なご支援、ご協力を頂きました。教職員一同、心より感謝とお礼を申し上げます。

人が、街が、環境が喜ぶ未来へ

株式会社 河原木電業
KAWARAGI

本社
青森県八戸市江陽二丁目11-13
TEL:0178-45-2100

関東営業所
埼玉県さいたま市南区太田窪二丁目8-13
TEL:048-884-3400

六ヶ所営業所
青森県上北郡六ヶ所村大字尾敷字家ノ前85-2
TEL:0175-72-3700

グループホーム智水寮
青森県八戸市江陽二丁目18-8
TEL:0178-22-0011

SAKURA 夢を未来へつなぐ限りなき挑戦

ワイヤーハーネス製造・加工、表面実装、半導体組立(COB) CO₂削減に貢献するLED照明関連商品の開発・製造

八戸市新商品開拓者認定企業(LED照明)

桜総業株式会社

代表取締役社長 福土 信雄 (八戸工業大学同窓会会長 昭和52年3月電気工学科卒)

本社 / 〒230-0001 横浜市鶴見区矢向4-30-16 電話: 045-585-1424(代)
国内工場・事業所 / 青森・白河・岡山 海外工場・事業所 / 香港・中国(深圳・江西)

土木建築同窓会

「機能は形態に従う」

八戸工業大学 名誉教授

月永 洋一



私が大学2年の時、建築史の講義では1880年90年代に活躍したシカゴ派の建築家ルイス・サリバン

の「形態は機能に従う」という言葉を学習した。それ以降この言葉は、大学で建築を学び、本学に着任してからの教育・研究を進める上でも基本的な信念となった。

サリバンの言葉は、建築の機能が満たされると必然的に美しくよいデザインになるということを意味しているが、これは建築に限らず諸々の創作的活動に通じる言葉ではないだろうか。

書籍や論文の執筆においても、講演用のスライドの作成においても、理路整然とした表現で図表も工夫を凝らすなど、人に伝えるためのそもそもの機能を満たすと、おのずと美しくよい文章やよいスライドとなり、人に対して理解しやすいものになるであろう。

本年3月の退職後は、建築学会とコンクリート工学会および青森県内のコンクリート関連の委員会委員等を続けさせていたが、これらの活動においても「機能は形態に従う」という信念のもと、会としての機能を十分に果たせば、その目的を達成するよい結果が形となって現れるであろうと考え、現在も活動を継続している。

新任教員紹介

黒坂 貴裕 研究室



「歴史を活かした地域づくりと
伝統建築構法の研究」

本年4月八戸工業大学に採用になり、30余年ぶりに故郷八戸に帰ってきました。留年も経験した大学時代は社会学、研究に目覚めた大学院時代は伝統建築構法、

その後、奈良文化財研究所では古代の都の発掘や、各地の歴史的建造物の調査に携わり、文化庁では国宝重要文化財建造物の修理指導、弘前や黒石が取り組んでいる伝統的建造物群保存地区、青森県東・岩手県北は件数が少ない登録有形文化財、文化財を保存修理するための伝統技術の保護や伝統建築材料の確保などを担当してきました。伝統技術の担当では大工や左官の技術を「伝統建築工匠の技」としてユネスコ無形文化遺産への登録を果たすことが出来ました。

私の研究室は、平成17年に本学を退任された高島成侑先生以来の、建築史を専門とする歴史意匠の研究室です。実は、研究所時代に携わった北秋田市胡桃館遺跡から出土した建築部材の調査では、高島研究室の卒論が役立ち、その後建築部材は重要文化財に指定されました。私の研究室も、北東北地域に貢献できる研究成果を発信していきたいと考えています。

研究室開設初年度となる今年は、八戸市島守の神社を皮切りにして昭和頃まで地域で活躍した建築職人（棟梁や彫工）を調査しており、あちこちの社寺をうろついています。学生とともに、地域それぞれの建築史を体系化して、地域の方々の故郷を見る目を変えて、自発的な地域づくりへ繋げていくことを目指しています。



龍興山神社(八戸市島守)
を実測調査するゼミ生

福士 譲(空間デザイン)研究室



当研究室の専門分野は建築設計(デザイン)になります。建築プログラムの卒業研究に論文と設計の両面があるように、社会の課題解決に向き合う為には実技による制作行為が必要となります。使い方/使われ方の両面から探求する建築計画学と不可分な関係にありながら、構造や設備、様々な諸条件をもとに、自らの身体を通じて提案する行為。それが建築設計ではないかと考えています。

近年、建築のあり方は多様化しています。公共空間では行政主導から官民協働や新しい公共による居場所づくりが求められるようになり、古民家改修やコンバージョンなど縮小社会における既存ストック活用といった社会的価値観の変化も見られるようになりました。一方でBIMやAI、CADの三次元化など設計作業の高度化や数社のコラボによる共同設計など、業務体制の多様化も見られます。当研究室では、プロジェクト立上げ時のプレデザイン、設計業務との併走によるコンサルティングなど、実務レベルでの協働が可能です。

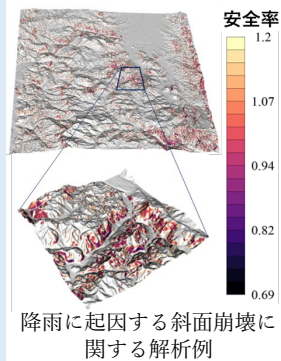
経済的合理性とともに社会的包摂を目指す複雑な時代では、先進性に加え文化・記憶の継承性、そして共有知や集合知による新たなものづくり手法など、ますます社会対応力のある提案的建築デザインが求められています。そこで、これ迄の設計業務の経験を活かしながら、実学としての建築設計教育に取り組みたいと考えています。

外里 健太 研究室



「数値解析に基づく災害の広域的な予測手法の構築」

広域における災害を対象として、数値解析の技術を効率的に活用することで、被害の高度なリアルタイム予測を可能とする枠組みの構築を目指した研究を行っています。災害に関する数値解析から得られる情報は、実験的な評価を行うことが難しい広域災害に対して貴重な情報となる一方で、計算に多くの時間を必要とすることから、災害発生時の状況に合わせたリアルタイム計算によるリスク評価が難しいという面もあります。私の研究では、そのような数値解析の情報を効率的に被害予測に活用するために、様々な発生シナリオを想定した数値解析を事前に実施してデータベースを作成し、データサイエンスの手法を融合することと、あらゆるシナリオでの広域災害リスクを即時的に予測可能なモデルの構築を行っております。これまでは、津波と降雨に起因する斜面災害を対象としており、今後とも数値解析やデータサイエンス手法、さらには観測情報との融合も行っており、さらに高度な災害予測モデルの構築を行い、防災・減災に貢献できる研究を行っていきたいと考えています。



平成24年3月機械・生物化学工学専攻修了
丹治 雅尋

私は生物環境化学工学科(現・生命環境科学コース)を卒業後、大学院の機械・生物化学工学専攻の修士課程を経て、東京水道株式会社に入社しました。当社は社名のとおり東京の水道の会社で、約3,000人が働いている日本最大級の水道トータルサービス会社です。

私は入社して今年で12年目になり現在は設備職の課長代理(係長)ですが、本当に様々な業務を行ってきました。その業務の一部を紹介すると、浄水場や給水所等の施設の運転管理、全国の自治体職員への研修講師、水質やシステム導入に関する技術報告や論文執筆、インターンシップや会社説明会等の採用活動などです。今回このOB・OG近況報告を掲載するきっかけも説明者側で参加した八工大の合同企業説明会で生命環境科学コースの小林先生とお会いしたからです。

私はこれまで様々な業務を行ってきましたが、大学や大学院で学んだ自ら能動的に取り組む姿勢が役立っていると確信しています。私は在学時代には化学工学を専門としており、触媒やマイクロ波の研究を行っていました。難しい分野なのでもそも触媒やマイクロ波とは何なのか根本的な部分から徹底的に勉強し、自分が理解できるまで抽象化したうえで、具体的な研究に取り組むというプロセスを繰り返し行ってきました。この具体化と抽象化の往復は会社に入ってから非常に役立っており、特に研修講師や役員説明では欠かせない要素です。このような過程を実際に体験しながら学ぶことができた八工大にはとても感謝しています。折角の機会ですので当社の宣伝をさせていただきます。当社は水道トータルサービス会社ということで事務職や環境職等の求人もあるのですが、今は特に土木職や設備職の人材を大量に募集しています。理由としては、当社が東京都の政策連携団体であり、東京都の職員が行っていた業務が当社に続々と移管されてきているからです。

手前味噌ですが当社の働きやすい点を例示いたしますと、入社初年度から有給は20日取得でき、設備職の人はほぼすべて取り切っています。研修も東京都と連携して行っており、種類・数共に豊富で、OJTもしっかりしています。私は機械や電気のことに入社してから学びました。また、設備職は交替制の勤務もあり仕事の区切りがつけやすいの。特に残業は少ないです。給与面では高給を謳う企業には及ばないところもあるかもしれませんが、時間持ちにはかなり非常にホワイトな企業だと自負しています。ぜひご自身のセカンドキャリアやお子さんや知り合いの就職先として検討していただけたら幸いです。

以上宣伝も含めての報告になりましたが、当社と八工大は親和性が高いため高いと思いますので、ぜひこれからもよろしく願います。

平成27年3月バイオ環境工学科卒業
中居 秀太

2015年3月に工学部バイオ環境工学科を卒業。昨年2月まで全国農業協同組合連合会青森県本部にて県内農業の総合支援に関する業務に従事し、現在はテオー食品株式会社にて転職、各種香辛調味料を製造し、全国飲食店等へ出荷する業務を行っています。

学生時代は、とにかくたくさん学びたいという気持ちが強かったと思います。青木秀敏先生ご指導のもと、愛好会『食品研究会』において同じ学科の仲間たちと授業で学んだことを基に商品開発に取り組み、キャンパスベンチャーグランプリ東北にて最優秀賞を受賞したときのことは今でも鮮明に覚えています。

前職に勤務していた頃は、農業の基礎すら知らない状態で県内各地の農協職員や農家の皆さんと連携して仕事を進めていかないといけない状態に課題を感じ、大学の友達の紹介で毎週末三戸町の農家を訪れて栽培技術の研修をさせてもらい、日々の業務に役立てておりました。転職した今でもその農家さんとは交流があり、時間がある時にトマト栽培やりんご即売会のお手伝いで顔を出しています。

昨年転職した一番大きな理由は、両親二人同時に癌が見つかり、父は助かったものの母が亡くなり、長男として県内に近い地域にいたいと思っただけです。現在は若手県二戸市に一人暮らしし、毎週末八戸の実家へ顔を出すようにしています。

現職の業務は前職までのデスクワークと異なり現場業務が多く、なかなか慣れないと感じながらも全国に安全で美味しい食品を提供するため日々作業習得に取り組んでおります。

転職し、休日の過ごし方や趣味も大分変わりました。以前までは趣味はゴルフと農業で、休日といえは会社のゴルフ大会やそれに向けた練習、持ち帰った仕事の資料見直し、栽培技術研修と、休日でも仕事から気持ちの離れた練習が無かったように思います。現在はゴルフ大会もなく仕事をもち帰る事も無くなり、休日の時間に余裕ができたので、昔から気になっていたけど触れたことがなかった『カードゲーム』を始めました。私がやっている『Shadowverse EVOLVE』は『好きな駒で戦える将棋』のようなカードゲームです。最初は単なる暇つぶしのつもりで始めたものの、Twitter(X)やDiscordを通じてこの1年で1000人近い仲間や知り合いが出来た事に驚きを感じております。今年度の全国1位を決める大会に出場するために青森県の子選を勝ち抜き東北大会出場の出場券を手に入れ、現在は12月開催の東北大会1位通過を目指して日々練習を重ねております。まだまだ未熟ですが、目標達成に向けて計画的にトレーニングを重ね、毎日練習に付き合ってくれている仲間達の為にも結果を残したいと思っています。(写真は大型大会に参加した際、普段リモート対戦している仲間達と撮影したもので右端が私)

これからも仕事と趣味を両立させつつ、これまでお世話になった人との繋がりを大切にする生き方をしていきたいと思っています。



株式会社ザックス

https://www.zax.co.jp

理化学機器、放射線関連製品、試薬、エアフィルター、計量証明、化学工場及び研究施設の運転・保守、等

八戸営業所 八戸市長根4丁目17-7
tel:0178-73-3620 fax:0178-73-3621

事業所:東通(本社)、六ヶ所、大間、八戸弘前、青森、北海道

www.zax.co.jp
株式会社ザックス

令和3年度卒業生からの近況報告

うみねこ会



荻谷 一 (株) エス・イー・シー・ハイテック

卒業後、株式会社エス・イー・シー・ハイテックへ就職し、第一ネットワークソリューション部に配属されました。第一ネットワークソリューション部は主にネットワーク関連の業務を行う部署であり、大学で学んだIT関連の知識を活かせる配属となりました。現在、お客様先のネットワークの保守・運用にあたっています。ネットワーク構成が複雑なため、配属後は大変でしたが、先輩達の支えにより構築の把握と同時に多くの知識と経験を得られました。配属され二年目になりましたが、今でも分からないことは多くあり、障害時は先輩方に質問しつつ対応しています。今後は、先輩方に頼らずとも対応できるように業務に動しんでいきたいと思っています。



小栗山 陸斗 かんぼシステムソリューションズ(株)

私はかんぼシステムソリューションズ株式会社で働いています。今は研究開発を行う部署に所属しており、最新技術を用いたPOC(概念実証)開発を行っています。POC開発はアジャイルで進めていて、ユーザーとなるかんぼ生命の方々と毎週打ち合わせを行い、そこで出た意見を取り入れながら柔軟に開発を行っています。ユーザーの方々に開発しているものを見ていただき、直接反応を頂けるのでやりがいを感じながら業務に取り組むことができます。



現在の業務ではクラウド等を用いた開発を進めており、学ぶことが多いです。大学時代に習得した知識を基盤に、新しい技術を継続的に学び、より活躍できるように努力していきたいと考えています。

佐藤 将博 (株) 日立産業制御ソリューションズ



私は株式会社日立産業制御ソリューションズで働いています。現在は社会インフラ分野の部署に所属しており、ソフトウェア開発を行っています。業務内容は、要求仕様をもとに仕様書の作成、プログラミング、試験を実施しています。学ぶことが多く大変ではありますが、先輩方の姿を見て真似をして実践することで、徐々にできることが増えてきていると感じています。また大学時代で学んだ情報工学の基礎(ネットワーク、データベース、プログラミングなど)は、今担当しているシステムの内部を理解するのに役立っています。休日は趣味や資格勉強、友人とたまに旅行するなどして過ごしています。就職を機に現在は茨城県で一人暮らしをしています。同期や会社の先輩方、離れた友人とも連絡を取りながら充実した日々を過ごしています。今後も変化を恐れず、新しいことに挑戦していきたいと思っています。

戸田 敬司 サクサシステムエンジニアリング(株)



私は現在、青森県八戸市にあるサクサシステムエンジニアリング株式会社でSEとして働いています。具体的には、ホームページ、ゲートウェイ、ビジネスファンの主装置など、ネットワーク機器の開発に携わる仕事をしています。初めは仕事で使うツールの通信に用いるプロトコルや仕様書の作り方など右も左も分からず困惑し、先輩方に教えていただくばかりでした。しかし、仕事の中で機器に実装されている機能の調査であったり、試験等で実際に製品に触れたりすることで自社開発している製品、システム開発などに対する理解・関心が深まっています。まだ未熟ですが、これからも日々成長していきたいと思っています。

学科ニューズ 新任教員紹介

桶本 まどか



2018年4月から2020年3月の2年間、八戸工業大学大学院博士前期課程でお世話になっておりました。昨年度国立音楽大学大学院にて博士号を取得し、この度、八戸工業大学に勤めるとなりました。3年前は学生として、今年度からは教員として、立場は異なりますが、再び通うことができ、ことを大変喜ばしく思っております。専門は、音楽音響分野、音楽情報処理、音楽知覚認知、感性工学です。音は物理的には空気の振動ですが、その振動を聴いて人々は色々な情動を享受することが出来ます。そのような音楽(音)そのものや音楽(音)を聴いた人の反応などについて研究を行なっています。今後ともよろしく願っています。

Office Optimization

オフィス・オブティマイゼーション/オフィスの最適化
貴社の業務の本質を捉え、
オフィスの最適なカタチを提案するのが仕事です。

株式会社 金入



〒039-1121
青森県八戸市卸センター二丁目4-12
TEL 0178-28-2871 / FAX 0178-20-2764
http://www.kaneiri.co.jp



～ 感性デザイン学科 20周年記念行事 ～

高橋 史朗

感性デザイン同窓会

感性デザイン学部が八戸工業大学に設置されたのは、2005年4月のことでした。当時は教員にとっても初めてのことで、今振り返っても冷や汗が出るようなシーンの連続でした。学生にはずいぶん助けられた思い出があります。そのせいか学生と教員の距離が近いことが、当時から学科の特徴で、たくさん学生と話をしたことが思い起こされます。

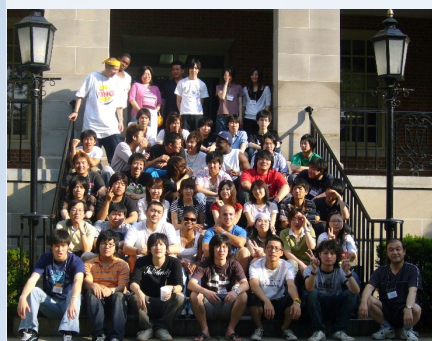
この伝統は今でも変わりません。研究室や卒研室、空き教室で、教員と学生が(多くの場合大笑いしながら)長話をするのはよく見る光景です。卒研や就活の指導が丁寧に行える関係性があることは、感性デザインの一番の魅力だと思っています。

今「伝統」と書きましたが、私たちもこういう言葉をつかえるくらい大人になったのです。実は来年4月に感性デザイン学部は20回生を迎えます。大きな節目の年なのです。

この間、多くの学生がここを巣立ち、中には社会的に重要な立場で働いている人もいます。カリキュラムも何度か変わりましたが、教員の顔ぶれもだいぶ新しくなりました。2023年の現在、学部創設時から在籍しているスタッフは、宮腰先生、川守田先生、安部先生と高橋の4名だけです。数回のカリキュラム改正があり、学科の設備も更新されました。しかし、感性デザインらしさのようなものは、しっかりと次の世代に受け継がれていると感じています。現在学部では、感性デザインの20周年を記念する行事を計画しています。

これから卒業生みなさんにご案内をしますが、単なる式典では感性デザインらしくないです。そこでみんなで参加できるイベントになるよう準備を進めているところです。それに合わせて今年度から来年度にかけて、何度か世代別の同窓会も開催する予定です。

というわけで、卒業生みなさんには、ぜひ周年記念行事に参画してください。懐かしい同級生から連絡があるかもしれませんし、学部のWebサイトにお知らせが掲載されることもあります。みんなで20周年をお祝いしたいと思っていますから、ご協力をお願いします！



～ 近況報告 ～

宮腰 直幸



皆様ご無沙汰しております。感性デザイン学科同窓会担当の宮腰です。感性デザイン学科開設から早いもので18年が経ちました。開設当初から学科にいる教員は坂本学長、高橋史朗先生、川守田先生、安部先生そして私の5人だけです。あ、私最初はいませんでした。学科と私の近況をお話いたしますと、学科名称が

感性デザイン学科に戻って2年が経ちました。学生のPC必携に伴い、学科最初のPCルームだったWindows RoomはPCが撤去されて持ち込みのノートPCを使う部屋になっています。学内にはWi-Fiが飛んでいるのでWindows Roomでも、KDプラザでも、ノートPCを利用することが可能になっています。もう、そういう時代ですね。数年前には講義室にもエアコンが付いたので夏でも幾分か快適に授業が受けられるようになりました。それでも今年の夏は暑かったですけど。小さなころでは、1階と3階の男子便所がリニューアルされてとてもキレイになりました。感性デザイン学科男子の長年の悲願がついに叶いました。

私個人は相変わらずCADやコンピュータの授業を担当していますが、それに加えて去年から製図の授業も受け持っています。手書き製図は最初に働いていたとき以来、本当に久しぶりです。やはり就職先として製造業関連は多いので図面が読めること、描けることは必要です。工学部ではありませんが、最低限の力は付けておきたいところ。求人の際はデザイン科でも図面を描けますので安心して求人をお願いします。

先日は八戸テレビさんから画像生成AIについてのインタビューを受けました(その節はお世話になりました)。なにやらすごい時代になりましたね。卒業生の皆さんは御存知かと思いますが、私全く絵が描けないので画像生成AIなんてものが出てくるとこんな自分でもなんとか絵が描ける(AIに描いてもらうのを描けるというのか分かりませんが)かも知れないと期待してしまいます。ただ、デザイン学科にいる立場としてはいろいろ考えなければならぬこと山積みの問題で、授業で扱うのも苦慮しています。今のカリキュラムには写真関連の授業もあって、学内に写真用機材の貸出を行える仕組みを作っているところです。趣味でやっていた写真がこんなところで活かせることになり、まさに「芸は身を助ける」です。最近では動画を撮りたいという学生も増えてそうした授業もやっています。

もう少しで20周年を迎えるので、学科開設当初からみると大きく変わりました。たまには学科の方にも訪ねてきてください。いつでも歓迎いたします。

令和4年度(2022年度) 事業報告・収支決算報告

2022(令和4)年4月1日～2023(令和5)年3月31日

事業報告

《本部》

月日	事業内容
令和4年6月 3日(金) ～6月22日(水)	第1回理事会・定例代議員会 (紙面開催)
令和4年10月17日(月)	創立50周年記念寄付贈呈式
令和4年10月22日(土)	創立50周年記念祝賀会
令和4年11月17日(木)	工大グループ同窓会連絡協議会
令和4年12月	同窓会報発行
令和5年3月20日(月)	学位記授与式
令和5年3月	第2回理事会・定例代議員会 (紙面開催)

《支部》

- ◆ 各支部役員会・総会は新型コロナウイルスの影響により全日程中止となりました。

《分会》

月日	事業内容
令和4年4月13日(水)	水交会賞表彰式
令和4年5月11日(水) ～5月12日(木)	学匠会幹事会(メール審議)
令和4年6月15日(水)	蒼峰会定期役員会
令和4年10月5日(水)	
令和4年10月22日(土)	蒼峰会総会 水交会役員会・総会
令和4年11月21日(月)	教育機器寄贈(水交会)
令和5年2月25日(土)	関秀廣先生を囲む会(水交会)
令和5年3月8日(水)	シンボルマークモニュメント 進呈式(蒼峰会)
令和5年3月20日(月)	各分会より手交式へ派遣 水交会賞表彰式
◆ 以下分会の役員会・総会等は新型コロナウイルスの影響により中止となりました。 ・土木建築工学科同窓会 ・感性デザイン同窓会	

決算報告

《収入の部》

(単位: 円)

項 目	本年度予算額	決算額	増 減
会費	5,400,000	5,320,000	▲ 80,000
会報協力費	500,000	669,123	169,123
広告収入	120,000	30,000	▲ 90,000
雑収入	1,766	458	▲ 1,308
前年度繰越金	14,168,148	11,231,228	▲ 2,936,920
総計	20,189,914	17,250,809	▲ 2,939,105

《支出の部》

(単位: 円)

項 目	本年度予算額	決算額	増 減
会議費	200,000	180,000	20,000
旅費交通費	1,000,000	170,440	829,560
集う会経費	300,000	0	300,000
印刷費	2,700,000	2,556,277	143,723
通信費	50,000	20,016	29,984
支部関係	1,350,000	9,997	1,340,003
運営費関係	30,000	3,196	26,804
分会助成費関係	1,200,000	364,339	835,661
業務委託費	66,000	66,000	0
積立金	0	0	0
慶弔費関係	60,000	0	60,000
卒業記念品	290,000	286,000	4,000
記念事業支援費	6,000,000	494,600	5,505,400
会則3・4条関連事業費	100,000	0	100,000
予備費	5,000	0	5,000
次年度活動費	6,838,914	13,099,944	▲ 6,261,030
総計	20,189,914	17,250,809	9,200,135

次年度繰越金

収入総計(決算額)－支出総計(決算額) = 15,973,350円

《特別会計》

(単位: 円)

項 目	本年度予算額	決算額	増 減
当期積立金	0	0	0
寄付	10,000,000	10,000,000	0
次年度繰越金	10,000,000	10,000,000	0
計	20,000,000	10,000,000	0

広告掲載 のお願い

同窓会では、「同窓生の集う会」開催など各事業を行っております。年に一度発行する同窓会報もその事業の一環であり、本会の活動内容や大学の近況等を発信するメディアとして、毎年多くの同窓生にご愛読されています。一方で、会報発行に掛かる経費(印刷および発送費)は同窓生数の増加とともに増え続けています。そこで、会報発行に掛かる経費を広告収入より充当したく存じます。つきましては、経費ご多端の折とは存じますが、同窓会報の永続的な発行のため、皆様より広告掲載のほど、よろしくお願い申し上げます。

- ① 発行時期: 令和6年12月予定
(同窓会報第30号)
- ② 発行部数: 約13,500部(予定)
- ③ 広告規格及び金額(フルカラー)
広告1枠(6cm×4cm) ¥10,000
※他サイズはご相談ください
- ④ 申込期限: 令和6年9月30日

同窓会事務局から

TEL : 0178-25-8070 メールアドレス:dosokai-k@hi-tech.ac.jp

本誌同窓会報をご家族の方が見て同窓生本人が見ていないことがあるようです。お手数ですが、ご子女に了承いただき同封の表面にご子女の現住所等必要事項をご記入のうえ、フリーFAXにてご送付ください。

協賛金のお願い

📢 本号から協賛金芳名簿を協賛者多数により大学ホームページに掲載しております

フリー
FAX 0120-10-9184(24時間受付)

〒121-0831
東京都足立区舎人 3-11-26

同窓 太郎 様

(差出人) 八戸工業大学同窓会

☎ 0120-10-9899 FAX 0120-10-9184

平日10:00~17:00

(整理番号) 92-35001001

1

同窓 太郎 様には、前年度、協賛金 2,000 円をいただき誠にありがとうございました。
協賛いただいた方のお名前を次号に掲載させていただきます。
掲載をご希望されない方は、恐れ入りますが、本部事務局までご連絡ください。

▼住所未確認のためご本人へご伝言ください。(敬称略)

35001002 お名前	35001031 お名前	35003002 お名前
35001005 お名前	35001033 お名前	35003006 お名前
35001008 お名前	35001034 お名前	35003008 お名前
35001010 お名前	35001036 お名前	35003009 お名前
35001011 お名前	35001038 お名前	35003011 お名前
35001016 お名前	35001042 お名前	35003012 お名前
35001022 お名前	35001044 お名前	35003015 お名前
35001026 お名前	35001046 お名前	35003016 お名前
35001029 お名前	35002003 お名前	35003017 お名前
35001030 お名前	35002004 お名前	35003018 お名前

2

登録内容をご確認ください

ドタラシ 太郎
同窓 太郎 様

〒121-0831 東京都足立区舎人 3-11-26

☎03-5839-3456

勤務先: 同窓会事務局

☎0120-10-9870

お支払方法

クレジットカード

銀行振込

ネットバンク/電子マネー (WEBサイトへ) →

アプリ決済

登録確認
住所変更等
住所未確認者・過去リスト

詳細→

3

02 払込取扱票 加入者負担
0 0 1 6 0 5 7 4 9 8 9 3 金額 2 0 0 0

八戸工業大学同窓会

●金額訂正・住所変更の場合は郵便便をご利用下さい。

同窓 太郎 様

整理番号 35001001

〒121-0831 東京都足立区舎人 3-11-26

011053023-202152009200350010010
999999-3-000000-5

2022/06/06

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

受付局日附印

払込票兼受領証

0 0 1 6 0 5 金額 7 4 9 8 9 3

八戸工業大学同窓会

同窓 太郎 様

35001001

0120-10-9870 (受付時間)
振込入氏名

同窓 太郎 様

お名前

35001001

お名前

20000